

# 議 事 録

(以下、敬称略)

会議名	船橋在宅医療ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会（令和4年度第3回）			
日時	令和4年9月8日（木）18：30～：20：00	場所	オンラインにて会議実施	
出席者	進行	石原茂樹・江尻和貴	書記	事務局：松川
	（委員 団体名順） ※団体名は略称表記 （市医師会）鳥海正明、松岡かおり、吉田幸一郎、 （歯科医師会）飯嶋和斗、飯島美智子、齋藤俊夫、田代晴基、谷博司、遠田なほみ、遠山良成、山崎繁夫、 （薬剤師会）杉山宏之、永井葉子、（県理学療法士会）高木秀明、（県言語聴覚士会）藤井貴裕、 （市訪問看護連絡協議会）五日市奈緒美、（市栄養士会）加藤寿美、下田久美、福島節子、 （市ケアマネ協議会）小倉雅治、吉田友則、（MSW 連絡協議会）渡辺千尋、半沢美由紀、 （市訪問介護連絡会）久保田恵子、河津美智子、松浦光子 （回復期リハ連絡会）池田喜久子、（通所リハ連絡会）伊藤秀一、（訪問リハ連絡会）佐々木啓人、 （市老人保健施設協会）塩原貴子、（市老人福祉施設協議会）林茂樹、石神敏明、 （市障害福祉連絡協議会）宮前篤史、（県在宅サービス協会）川上祥弘、佐藤健一、島田晴美、清水裕也、 （NPO ピュア）藤田敦子、（ふなぼーと）松本淳、（西部包括）大塚由紀、 （市リハ病院）梅津博道、鳥居和雄、（市リハセンター）石原茂樹、江尻和貴、泉水泰良、 事務局：齋藤課長、窪田課長補佐、佐野係長、玉川係長、松川、佐々木（地域包括ケア推進課）			
欠席	上記氏名で口枠のない者			
テーマ	内 容			
1)報告・検討議題 (20分)	1. 報告・検討事項 ①新たなメンバーの紹介 藤井貴裕氏（千葉県言語聴覚士会） ②地域リハビリテーション拠点事業報告（予定・実績） ・第34回地区勉強会の報告 ※アンケート参照（後日メールにて送信） ・第18回摂食栄養サポート勉強会：9月12日（月）18時30分～ ・第24回船橋市地域リハビリテーション研究大会：10月31日（月）18時30分～ 「地域包括ケアを支える地域リハビリテーション（仮題）」 松坂誠應（まつざかのぶおう）氏 （在宅支援リハビリテーションセンターぎんや センター長） ・第35回地区勉強会の予定について → 第1回打ち合わせ：9月21日（水）18時30分～ 勉強会開催予定日：11月24日（木）（仮） ※9月21日に決定予定 ③ひまわり他の委員会等の活動予定について ・令和4年度船橋在宅医療ひまわりネットワーク第1回役員会 9月28日（水）19時30分～（市役所11階大会議室） ・安心の確保委員会 市民公開講座 講師：小笠原文雄氏 11月5日（土）14時～16時30分 西部公民館 ・認知症の人にやさしいまちづくり委員会 船橋市認知症シンポジウム 12月3日（土）13時45分～15時50分 勤労市民センター ・人材育成委員会 スタートアップ研修（リハビリ編） 12月18日（日）午後 調整中			
2)各団体からの報告 (10分)	●船橋市医師会 ・ ●船橋歯科医師会 ・令和4年10月2日（日）14時～ @船橋市中央公民館 小児摂食講演「食べる機能の育み方」			

(日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科 町田麗子先生)

・令和4年10月23日(日)14時～ @船橋市中央公民館

高齢者摂食講演(日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 菊谷武先生)

●船橋薬剤師会

- ・理事会、委員会組織の再編成について
- ・コロナワクチン希釈充填協力作業 9月で終了です。
- ・2歳6か月児歯科健診時のお薬相談の実施
- ・フッ化物事業 市内小学校全校に拡大予定

●千葉県理学療法士会

- ・千葉県PTOTST連携推進会議主催 認知症リハビリステーション専門職研修(応用コース)  
11月5日(土)、12月10日(土)、令和5年1月22日(いずれも午後、3日間)  
申込期間:9月17日(土)～10月26日(水)

※申込方法:各士会HPに掲載

- ・「こどもへの訪問リハビリテーションの基礎と実施(仮)」セミナーの開催  
10月23日(日)13時～17時 ZoomによるWebセミナー

※詳細はPT士会HP参照

- ・健康まつり出展予定

●千葉県作業療法士会

・

●千葉県言語聴覚士会

・

●船橋市栄養士会

- ・9月12日(月)摂食栄養サポート勉強会
- ・ふなばし健康まつり(11月6日)「若い女性の痩せすぎに警鐘を鳴らす」のようなテーマでブースを出す予定。

●船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会

- ・年内、定例会開催予定
- ・ふなばし健康まつりにブース出展予定

●船橋市介護支援専門員協議会

- ・令和4年8月23日 地域包括ケア推進課と共催研修開催した。  
内容としては、高齢者の尊厳を守る為にケアマネジャーに必要な法的知識等を学ぼう
- ・健康まつりにブース出展予定。

●ふなばし市訪問看護事業者連絡会

・

●船橋市訪問介護事業者連絡会

- ・8月23日(火)ハローワークにて「介護って何?」介護セミナーを開催した。8名参加

●船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会

- ・9月下旬～10月上旬に代表者会議開催予定。

●船橋市訪問リハビリテーション連絡会

- ・8月19日(金)に事業所間・交流会をZoom開催にて実施。  
コロナ禍で大変な状況下ではあったが、11施設24名の参加となった。  
グループディスカッションでは、参加者が日々の仕事で抱えている悩みや疑問・興味について話し合った。次回は11月に総会と研修会を開催予定。研修会の内容については打ち合わせで決定していく。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●船橋市通所リハビリテーション連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回定例会 10月25日(火) デイサービス連絡会と合同開催にて意見交換実施予定。</li> </ul> </li> <li>●船橋市デイサービス連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> </li> <li>●船橋市老人保健施設協会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> </li> <li>●船橋市老人福祉施設協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> </li> <li>●船橋市障害福祉施設連絡協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月15日に第1回定例会、障害福祉課、療育支援課も出席</li> </ul> </li> <li>●千葉県在宅サービス事業者協会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> </li> <li>●NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク・ピュア <ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジカフェひまわり 9月16日歯科医師会、10月21日薬剤師会より講義あり。</li> <li>・ユマニチュード研修会 10月29日(土)14時～15時30分 ※ハイブリット開催</li> </ul> </li> <li>●船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/10(木) 船橋在宅医ネット研修会(オンライン) 開催予定</li> </ul> </li> <li>●市立リハビリテーション病院・市リハビリセンター <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康まつりに出展予定</li> <li>・9月29日(木) 市民向け講演会をセンター内で開催予定。</li> </ul> </li> <li>●西部地域包括支援センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月30日(金) 習志野台公民館にて、認知症家族交流会予定</li> </ul> </li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度第3回千葉県脳卒中等連携意見交換会 9月21日(水) 18時30分～ Zoom による Web 会議 ※令和元年度より入退院支援部会が設置、県より市町村担当課にも参加周知がされている。</li> <li>・ふなばし健康まつり 11月6日(日) 10時～15時 イオンモール船橋</li> </ul> </li> </ul>
<p>3) (15分)</p> <p>4) 班による検討について (50分) 発表 (10分)</p>	<p>2. 各班作業</p> <p>(1) 班名：1班 「みんなで咲かせよう地域包括ケア班」 2班 「障害福祉を知って船橋を明るくする班」</p> <p>(2) 班メンバー：</p> <p>1班：A) 石原、松岡、半沢、吉田(友)、石神、鳥居、大塚、玉川、佐々木 B) 田代、加藤、下田、永井、塩原、藤井、松川 2班：吉田(幸)、池田、齋藤(俊)、飯島、江尻、宮前、高木、伊藤、小倉、福島、馬場、斉藤(千)、石川、松本(淳)</p> <p>(3) 班の作業</p> <p>●1班</p> <p>A班(インフォーマル)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域リハニュースに掲載する情報の整理について</li> <li>・今後の作業スケジュールについて</li> <li>・Weelog の情報</li> <li>・公園での健康づくり</li> </ul>

- ・自然散策マップ

- ・シルリハの利用について

以上4つの項目を紹介 それぞれの担当者も決定した。

**B班（摂食・嚥下）：**

- ・地域リハニュースに掲載する情報の整理について

- ・今後の作業スケジュールについて

◆藤井氏、加藤氏より資料説明を行っていただき、意見交換を実施。

**藤井)**

- ・舌の筋肉の紹介とどのように嚥下に繋がっているかがわかるといい。

- ・レシピを会員に発信したいと思っている。

- ・ケアマネ業務が多いのだが、以前はなかったが最近 ST が増え、言語訓練も増えてきている。身体介護で食事づくり（ミキサー食など）がある。

- ・特養で介護からパタカラがいい？と聞かれることがあるが、意味がない？

話が少なくなったら楽しいことを話してもらった方がいい。

→コミュニケーションは大事、口も動かさないと機能低下する。大きく開口することも大事。

- ・直接食事介助の方の話を聞く機会がないので聞いてみたい。

- ・筋肉の部位も知れるといい。

- ・栄養士会のレシピは、ハードルを下げて実用的なものにしている。

- ・摂食・嚥下の評価（RSST）も入れられるといいのでは。

- ・5期ごと関係する筋肉を説明できるといい。

**加藤)**

- ・お汁は残してをスライドの記載を。

- ・ミキサー後のお汁の調整はどのように？

- ・味見の大切さ を記載

- ・鯖の味噌煮 ミキサー粥を入れてミキサー を記載

- ・注意点も記載

**下田)** 難しく考えないで作る は伝わったと思う。

**松浦)** ヘルパーのケアの中で行うには煮込みの時間がネックになる。家族がいれば下拵えをしてもらえれば、訪問介護の時間でも可能か。

- ・市販の嚥下食もあるが飽きてくる。親しんだ味がベースになっているのがいい。

**永井)** 水ではなく というところをアピール

<結果>各意見を踏まえ、資料を再修正する。

整えた資料にて、地域リハニュースの内容を検討していく。

●2班 【決定事項】

- ・今後の班活動・作業内容の絞り込み、整理について

千葉県支援センター（ぼらりす）による勉強会の開催

船橋市担当課から依頼してもらい、実施。

ご依頼のための資料を江尻→松川さん→斎藤課長へ。

- ・地域リハニュースに掲載する情報の整理について

今年度学んだことを記載する。

- ・今後の作業スケジュールについて

11月の委員会で進捗確認。

### 【話し合いの経過】

○自分や自分が所属する事業所または団体でできる（かもしれない）こと（地域リハ推進委員会の財産）

**高木）** \*実際に関わっているセラピスト等に経験から気になっていることなどについて共有  
\*千葉県理学療法士会「基礎から学べるこどものリハセミナー」 開催情報の共有  
\*Familink\* 開催情報の共有

**藤田）** 千葉リハについて情報提供や連携支援  
様々な情報を収集する事ができるため、東葛南部地区のネットワーク作りの際に情報を収集して提供する事は可能。

**飯嶋）** さざんか歯科は1.5次医療機関くらいの立ち位置なので、子ども病院終了後受診が途絶えてしまうことの緩和には何か手助けができたらと思う。ホームページや情報伝達などを考えたい。

船橋歯科医師会での勉強会を通じて虫歯のチェックや簡単な口腔ケア、緊急対応などを受け入れてくれる1次医療機関が増えてくれれば。

○地域リハ推進委員会でできる（かもしれない）こと

**宮前）** 情報収集と情報提供（例：児童版ひまわりマップのようなもので情報を集約）  
当事者の方はどんな情報でも欲しいと思っていると思う。

**高木）** 障がいをもつお子さんなどを支援している施設・スタッフが繋がれる機会を作る（仮称船橋こどもリハ・療育連絡会）

小児に関わって機関はいろいろある。横のつながりができるのがよい。

**藤田）** 行政が窓口になり、今迄出会っていない方々が出会い、支援について語る場の創設  
いろいろな職種の方々の輪を作り、話し合っていく場が必要。千葉市は千葉リハがあり、コーディネーターが各区にいる。災害が起こった時に、いろいろな組織が一つになっていくには行政が入ってもらえると良い。

**飯嶋（当日欠席）** 上であげた勉強会の開催などにあたり、歯科以外での分野からお話いただく機会があれば

先程のように受診が途絶えてしまった患者への医院紹介

地域勉強会などでとりあげることで、歯科医師にも少しでも周知できたら

人材不足という意見が多いように思えたため、地道ではあるが、研修や学校教育などから興味を持ってもらえる人を増やす？)

その他 班名の「障害福祉を知って船橋を明るくする」がまだできているとは言い難い。学びを続け、学んだことを地域リハニュースに掲載することも良いのではないかな。

市内の障害児に対応している機関情報を集め、地域リハニュースで発信することも良いのではないかな。

意見を聞いて

**佐々木）** 障害児を支援している施設として、千葉リハの研修会に参加したり。相談できる引き出しを欲している。訪問リハ連絡会でもやっていきたい。しかし、訪問リハ連絡会だけでな

く、様々な機関で実行していくことが大事。障害児と触れ合える場、語り合える場、をつくっていく。

**池田)** 障がい児者について知っていくことはよいと思う。

徳洲会病院でも、3歳から学齢期までみている。紹介はできる。小児科を卒業した人のつながりもあり、皆さんと相談できたらよい。

**松本)** 輪を作るのは大事と思う。医師会長寺田先生、小児版ひまわりネットワークをやりたいとおっしゃっている。その中に、障害児ネットワークも位置付けられると良い。

宮前さんのおっしゃるマップはすごく良い。知り尽くしていない自分。

**清水)** デイサービス管理者をやっている。放課後等デイサービスもあるため、障害児に対する疑問点、利用者親御さんに意見を聞き、委員会で発信できれば。

**佐藤)** 障害福祉を知って、というところが重要か。放課後等デイサービスあるが、現場を知りたい。

**吉田)** 医療的ケアの子の現状 限られた先生が一生懸命やっていることを初めて知った。現実がどうなのか、一部の先生に負担をかけているので良いのか。15歳以上になるとどうなっていくのか。医師会で調査をすれば分かるかもしれない。が、医師会関係者がこの委員会に出ていないが。会長が、小児のことに力を入れたいと医師会報に書いてあった。会長に相談に行くとか。担当の理事などを決めてもらうなど出来たらよい。

**斎藤)** 歯科医師会でも担当メンバーを増やしたが、本日、出席できたのは自分だけ。会長と考えていきたい。平成7年さざんか歯科開院。地元の反発もあった。保健福祉センターができ、休日急患ができる際、平日もできるよう、かざぐるま歯科となった。担っているのは1.5次医療。大学病院から医師を紹介してもらっているので、何かあれば大学と連携が図れる。OTや先生方とかいろいろなことに関わっている。直接的な連携がとれていない。市内障害児対応の機関情報を収集し、発信していくことが大事。こまわりネットワークが4-5年前に立ち上がり、そのままになっている？

**渡辺)** 松本さんが社会資源の情報といていたが、自分も苦慮している。リハ病院は、高齢の方が多。どこに相談するのかというところから始まる。支援者のことが分かると助かる。地域リハ委員会のできることで、地区勉強会、研究大会に参加する人、高齢の方に関わる方が多い印象。こういった方に障害児リハにまつわることをテーマに取り上げると学べる機会が得られると思う。

**斎藤課長)** コロナ前に飲み会をやった。関係団体の方々、保育園の方、ふくめ参加してもらい、勉強会を重ねていこうとしていた。コロナになり、医師会も忙しくなり、集まりができていない。こまわりネットワークの集まりは、当時、担当部署がなく、斎藤課長が働きかけた。市役所からは子育て支援部、療育支援課が出席できるようにした。

地域リハ推進委員会では、「こういうことがやれるんじゃないか」、ということをもとめてくれれば、寺田先生に相談し、始めることはできると思う。医師会の小児担当は松本あゆみ先生。地域リハの担当は松岡先生。

市では、医療的ケア児は地域保健課、放課後等デイサービスなどは療育支援課が担当。

地域包括ケア推進課は介護保険の財源。どこが担当となっていくかは検討するが、新たな出会いができる取り組みがとれば。

	<p>藤田)</p> <p>千葉県に医療的ケア児等支援センターがあり千葉リハが受託している。医療的ケア児の取り組みのありようは勉強会ができる。市で、療育支援課が窓口であれば、勉強会を開催してもらい、我々メンバーが参加させてもらっては？どういふことをしなければいけないのか知ることが第一歩では？</p>
5)その他	
次回日程	11月10日(木)18時30分～